

# ODA

# しゃりん

# 76

## 沖縄脊髄損傷者連合会

編集: 沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211  
 〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1西棟2階・ボランティア小規模団体室  
 Eメールアドレス sekiren@proof.ocn.ne.jp  
 ホームページアドレス http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/

### 九脊連研修会参加

去る2月1日〜2日に福岡県で行われた研修会・定例会に参加してきましたので報告したいと思います。

1日目は広報誌（機関紙）の作り方で、講師・川浪辰俊氏（福岡県朝倉郡出身、西日本新聞記者社会部次長、アメリカ特派員、大阪支社長、西日本新聞広告社長、九州シニアライフアドバイザー協会会員）を迎え、研修会が行われました。内容は次のとおりです。

#### 1、何がニュースかという議題で9つの判定基準

- ① 新規性（珍しさ）
- ② 国家性
- ③ 社会性（大衆性）
- ④ 人間性
- ⑤ 国際性
- ⑥ 記録性（歴史性）
- ⑦ 影響性（模倣性）
- ⑧

地域性 ⑨ 時間性 9つの判定基準のうち広報に必要な順として1、新規性2、人間性3、記録性・地域性の順で広報誌を作るとよいと教わりました。

#### 2、文章の書き方

① 起承転結法：起とは、話の起こりで挨拶などの準備の段階。承とは、起から引き継いで目的の本文を書く。転とは、承から受け継ぎさらにいろんな方向から+αの味付けをし文章に変化と厚みを出す。結とは、結論を導き出し文章全体をまとめ締めくくる。

② 要点先述法（逆三角形法）：これは新聞などで使われる手法で最初に結論を述べ経過・背景・談話の順に優先順位を持つてくる手法だそうです。③ 5W1

H・いつ（when）どこで（where）誰が（who）何を（what）なぜ（why）どのように（how）、伝えたいことはこの要点をしっかりと入れると、伝わりやすいそうです。

3、紙面の作り方、レイアウト・禁じ手などを教わりました。

#### 4、見出しのつけ方

① 正確・簡潔・平易の3要素 ② 客観見出し・ストレート見出し・主観的見出し ③ 省略のピークが見出し 17文字（主見出し7文字・そで見出し10文字） 5W1H法はみだしに使うといいらしいです。

2日目は定例会で議題は1、本部総会での提案（重要）事項について2、九ブ口熊本大会について3、長

崎県支部再編について話し合いがもたれました。

1の議題は障害者自立支援法に本部が理事の承諾なしにこの法律を応援しますと発表したことに始まっています。九脊連としては重要な法律などに関してには理事の確認をとってから返答をしてほしいとしています。が、そこまでする必要があるのかという声もあり支部の活動と違う返事を勝手にされても困るので定款にされることを総会で提起決議しようというものです。

2については、現段階での準備状況の報告でした。

3については、長崎県支部が崩壊の危機にあるというところで、矢野本部長・矢羽田九脊連副会長を中心に、現状の把握と相談ま

とめをやってもらうことになりました。

最後に、初めて参加した研修会・定例会でしたが内容がごく時間がいくらいあってもたりないくらいでした、また、他県の理事の方々のやる気などにもびっくりしました。1泊2日でしたが、すごく勉強になりました。

(報告・伊波)

### おきなわ脊髄損傷リハビリテーション講習会

去る2月9日(土)、午後2時〜5時30分、沖繩市泡瀬の沖繩リハビリテーションセンター病院にて、「おきなわ脊髄損傷リハビリテーション講習会」が開催されました。これは、自立を目指した脊髄損傷者の

生きがいのある生活と活動(スポーツ等)についてみんな考えて、学ぶことを目的に、①「県内の脊髄損傷者の実態とピアサポート活動の実践」をテーマで沖脊連の上里一之が報告、②「脊髄損傷者の自立を目指した生活環境と福祉機器について」を佐賀大医学部附属地域医療科学教育研究センター・福祉健康科学部門准教授の松尾清美氏の講演、③「車いすスポーツの医学的意義」を和歌山県立医科大学医学部リハビリテーション医学教授の田島文博氏による講演がありました。

県内から施設職員やリハビリ関係者など150名余りの参加者のもと、脊髄損傷者の医学的な見地から、

スポーツを行なうことの有効性などを学ぶ機会となりました。

(報告・上里)



### バリアフリー検証

去る3月4日(火)、沖繩海洋博公園内でバリアフリー検証実施され、沖脊連からも役員3名が検証者として参加しました。

今回のバリアフリー検証は、沖繩観光の人気スポットである海洋博公園のバリ

アフリー化がどの程度進められているのかが注目すべき点でした。検証では、車椅子利用者に対するバリアフリー化は進展していましたが、残念ながら聴覚障害者対応のバリアフリー(点字誘導ブロックなど)化が殆どなされていませんでした。観光立県沖縄として、全ての人の対応したバリアフリー化が進められることを期待します。(報告・事務局)

## 沖縄連新年会

去る1月26日(土)、恒例の沖縄連会員親睦新年会を実施致しました。

今回の新年会は那覇市港町にある海鮮居酒屋「北の葵」で、飲んで食べて騒いで?という風にとてもシンブルなものになりました。



参加者は約20名、少な目ではありましたが久しぶりに会う仲間たちとの情報交換や近況について語り合い盛り上がりを見せました。来年の新年会はもう少し早めに取り組み、家族も含めて楽しめる催しにするよう役員一同出来るだけ努力したいと思えます。(報告・大城)

## ハリケーンズ準優勝

ウィルチエアラグビー(車いすラグビー)の第9回日本選手権大会が22~24日、千葉市の千葉ポートアリーナで行われ、沖縄ハリケーンズが決勝に進出し、27~38でブリッツ(東京)に敗れたが県勢初の準優勝に輝いた。MSP (Most Sport ing Player) 賞に仲里進、ベストプレーヤー賞(ベスト7)に當間貴志が選ばれた。悲願の決勝進出応援に「恩返し」県勢初の決勝進出を果たし「やつとここまで来れた」と選手たちは口をそろえた。選手兼ヘッドコーチを務めた仲里進は「これまでなかなか決勝に行けず4位止まり

広告(エアー沖縄)

